

# 委員会審査の報告

(6月定例会で委員会に付託された議案等の審査を行いました。)

## 総務企画委員会

委員長 二宮 淳

### ◆請願第9号 核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願

**趣旨** 2021年1月22日に核兵器禁止条約が発効したが、日本政府は核保有国と非保有国との橋渡し役をする一方で、現実的な核軍縮につながらないとして条約に反対の立場を取り続けている。唯一の戦争被爆国としての日本政府の責任は特別重要であり、地球上の核兵器廃絶に向け、国際間の調整役など主導的役割を果たすべきであることから、日本政府及び国に対し、核兵器禁止条約に署名・批准することを要請されているもの。

**意見** この条約には国際社会の大部分が加盟しておらず、さらに核兵器保有国が参加していない現状から、実効性に乏しく賛同はできない。しかし、世界から核兵器の脅威がなくなることについてはある程度理解もできるため、趣旨採択としたい。

この条約へは現在93か国が署名し、70か国が批准をしている中、唯一の被爆国である日本として、賛同すべきである。この請願は世界を平和へと導く想いが込められていることから採択としたい。

**審査結果** 趣旨採択

### ◆請願第10号 伊方原発を即刻止めることを県知事に求める請願

**趣旨** 今年1月1日に発生した能登半島地震や発生後13年を経た福島原発事故に加え、県下では4月にマグニチュード6.4、南予で震度6弱を観測した地震も発生し、県内の住民からは原発への不安が募っている。住民の命と生活を守るという自治体本来の役割を果たすため、議会に対し、「伊方原発を即刻止めるよう求める」決議を行うよう、要請されているもの。

**意見** 原発の即刻停止となればその影響は大きく、電気料金の値上げが懸念されるほか、発電所で働く方の雇用の問題などもあることから、早急な原発の稼働停止には賛同できないため不採択としたい。

万が一の事故を想定すると、その被害は甚大である。南海トラフ地震の発生も危惧される中、まずは

即刻廃止を行い、そのうえで廃止に伴う措置を講ずることが大事と考えているため採択としたい。

**審査結果** 不採択

## 厚生文教委員会

委員長 村上 常雄

### 《令和6年度大洲市一般会計補正予算》

#### ◆徳森認定こども園施設整備事業について

**説明** 老朽化した徳森保育所に代わり、新たに徳森認定こども園を整備するもの。令和7年12月の完成を目指し、監理業務委託料及び工事請負費を補正予算として計上し、繰越明許により実施する。

**問** 施設の概要は。

**答** 敷地面積は2,421平方メートル、建物面積は約800平方メートルを予定し、定員は70名。痰の吸引や経管栄養といったケアが日常的に必要な医療的ケア児の受入が可能であり、他の就学前施設への給食を配食する機能を備えている。

**問** 駐車場はあるのか。

**答** 敷地内には身体障がい者用を含め13台分の駐車スペースを設ける予定である。

**要望** 建設地は住宅地であり、周辺道路も狭いことから、保護者が安心して子供たちを送迎できるよう、現徳森保育所の跡地利用も含め駐車場の確保に努めてもらいたい。

## 産業建設委員会

委員長 安川 哲生

### 《令和6年度大洲市一般会計補正予算》

#### ◆J R伊予大洲駅前駐輪場整備事業について

**問** 整備予定の駐輪場の概要は。

**答** 現在の利用状況を鑑み、駐輪場は屋根付きとし、台数は約200台を予定しており、照明の設置も検討している。

**要望** 駐輪場を設置している市内の他の駅でも、J Rに対して市や地元が借地料を払っている場所がある。負担軽減をしてもらえないかとJ Rに相談しても断られる。今後条例整備をする中で、その点についても併せて検討材料としてもらいたい。

**答** 今年の5月に高松市のJ R四国本社に伺った際にも、「公共利用のために、市がJ Rの土地に駐輪